

子どもから大人まで～高次脳機能障害者の就労支援

長期の見通しと地域で支える戦略

高次脳機能障害の就労支援は、自身の障害理解と受容、それまでの生き方との折り合い、家族の中で果たす役割の変化など、本人自身だけでなく、とりまく環境への配慮が必要で、現実的な就労に至るには長い時間と多くのエネルギーを要します。自立支援法で想定されている、短期集中的な就労支援には収まりきらない場合があります。

児童期の受傷に関しては、卒業後のキャリアを考えつつ、普通校か特別支援校かを選択し、さらに、卒業後の進路で、一般就労か福祉的就労かの選択をしなくてはなりません。

社会資源の限られた地域において、高次脳機能障害の就労支援の計画を立てるに当たり、本人・家族が5年、10年といった長期を展望しつつ、モチベーションを失わず、長く働ける就労の形態を模索することを支援するにはどうすればいいかを考えます。

■日 時：2015年10月10日（土）13：30～16：30

■会 場：旭川市ときわ市民ホール 多目的ホール（旭川市5条通4丁目）

■第一部

20年以上の長期にわたり高次脳機能障害の支援を行ってきた、神奈川県総合リハビリテーションセンターのソーシャルワーカー瀧澤氏を講師に迎え、長期にわたる就学・就労支援の戦略について講演いただきます

講 師：瀧澤学氏（神奈川県リハビリテーション病院 支援コーディネーター）

■第二部

上川管内の就労・就学支援機関の方々から実践報告をお話いただきます

パネリスト：近藤光徳氏（北海道障害者職業センター旭川支所 支所長）

加藤浩二氏（障害者就業・生活支援センター「きたのまち」副センター長）

宿村真奈美氏（就労移行支援事業所「なつみかん」施設長・サービス管理責任者）

梶原 淳氏（雨竜高等養護学校 進路支援部）

■参加費：無料



主 催：NPO 法人コロポックルさっぽろ

（お問い合わせ TEL011-858-5600 札幌市豊平区月寒東1条17丁目5-39）

この講習会は北海道高次脳機能障がい者支援事業で実施しています